續滿三年入社以來の賃金總取高貳千圓の人が死亡した
計算すれば貳千圓に第二號表の給與率即ち千分の九十
＝ 190圓
九拾圓となります
れば
あれば日給九十日分即ち百八圓となり又此人が世帶持
百五日分即ち百貳拾六圓となります
ますと普通の方法に依つて計算した（イ）の方が多いのです
い方の百九拾圓を上げるのです

會社職工退職手當規則

左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ本則ニ依リ本人又ハ其遺
因リ解傭シタルトキ、
ラスシテ業務上負傷シ勞務ニ堪エサルモノト認メ退職ヲ
シ老衰又ハ癈疾ノ爲業務ニ堪エサルモノト認メ退職ヲ許
自己ノ都合ニ因リ退職ヲ願出已ムコトヲ得サルモノト
定ニ依ル退職手當給與額ハ左ノ各號ノ金額トス但別表
ヲ得ス
ニ當會社ニ定傭職工トシテ傭入タル者ニ在リテハ其傭
十日迄ノ賃金總取高ニ對シ傭入暦年度ニ應シ別表第一
正七年十二月二十一日以後ノ賃金總取高ヲ加算シ其和
別表第二號ニ定ムル退職手當給與率ヲ乘シタル金額
後ニ當會社ニ定傭職工トシテ傭入タル者ニ在テハ其傭
迄ノ賃金總取高ニ對シ勤續年月數ニ應シ別表第二號ニ
ル金額
退職手當給與額ハ前條ニ定ムル退職手當給與額ニ左ノ
トス
滿ノトキ　百分ノ二十五、
滿ノトキ　百分ノ三十五、
滿ノトキ　百分ノ五十、
滿ノトキ　百分ノ七十、
滿ノトキ　百分ノ八十、
未滿ノトキ　百分ノ九十、
キ　全　額、
ニ對シテハ本則ヲ適用セス
ル者、
爲詐術ヲ用ヒ又ハ虚僞ノ申出ヲ爲シタル者、
合ノ行爲ニ因リ解傭セラレタル者、
說ヲ流布シ其他不都合ノ行爲ニ因リ當會社ニ損害ヲ加
タル者、
心得又ハ禁制ニ違背シ解傭セラレタル者、
加シタルニ因リ解傭セラレ又ハ死亡シタル者、
ヲ受ケタルコトアル者ニ對シテハ其輕重ニ從ヒ退職手
ルコトアルヘシ
上トナリタル日ヨリ之ヲ起算ス
滿三箇月以上ニ渉ル缺勤ノ期間ハ勤續期間中ヨリ之ヲ
因ラスシテ業務上負傷シタルニ因リ缺勤シタル期間ハ
金、早出料居殘料增歩及戰時補給ノ七種ノ取高ノ合計額
職手當ハ死亡ノ當時本人ノ收入ニ依リ生計ヲ維持シタ
トス
コトアルヘキ壹圓未滿ノ端數ハ之ヲ圓位ニ切上クルモ
ハ本則ノ給與額ニツキ特別ノ詮議ヲ爲シ增額又ハ更
ニ對シテハ異議ヲ挾ムコトヲ得ス
ニ因ラスシテ滿六箇月ヲ經過シタルトキハ退職手
ス

備考			
明治四十年傭入	一、五五		
明治四十一年傭入	一、五三		
明治四十二年傭入	一、五一		
明治四十三年傭入	一、四八		
明治四十四年傭入	一、四六		
大正元年傭入	一、四四		
大正二年傭入	一、四一		
大正三年傭入	一、三八		
大正四年傭入	一、三四		
大正五年傭入	一、二七		
大正六年傭入	一、一七		
大正七年傭入	一、〇三		

備考
一、本係數ハ大正七年十二月二十日迄ノ賃金總取高ニ對シ傭入暦年度ニ應シ之ヲ乘スルモノトス
二、大正七年十二月二十一日以後ノ賃金總取高ニ對シテハ本係數ヲ乘セス

別表第二號

第二條第一號及第二號ノ規定ニ依ル退職手當給與率

勤續年月數	退職手當給與率
六箇月未滿	千分ノ七十五
滿六箇月以上一年未滿	千分ノ八十
滿一年以上二年未滿	千分ノ八十五
滿二年以上三年未滿	千分ノ九十
滿三年以上四年未滿	千分ノ九十五
滿四年以上五年未滿	千分ノ百
滿五年以上六年未滿	千分ノ百五
滿六年以上七年未滿	千分ノ百十
滿七年以上八年未滿	千分ノ百十五
滿八年以上九年未滿	千分ノ百二十
滿九年以上十年未滿	千分ノ百二十五
滿十年以上十一年未滿	千分ノ百三十
滿十一年以上十二年未滿	千分ノ百三十五
滿十二年以上十三年未滿	千分ノ百四十
滿十三年以上十四年未滿	千分ノ百四十五
滿十四年以上十五年未滿	千分ノ百五十
滿十五年以上十七年未滿	千分ノ百五十五
滿十七年以上十九年未滿	千分ノ百六十
滿十九年以上廿一年未滿	千分ノ百六十五
滿二十一年以上廿三年未滿	千分ノ百七十
滿二十三年以上廿五年未滿	千分ノ百七十五
滿二十五年以上	千分ノ百八十

別表第三號

第二條但書ノ規程ニ依ル最低額

第一、獨身者、女子、其他本表第二ニ該當セサル者ニ在リテハ第二條但書ノ規定ニ依ル最低額ハ左ノ區別ニ依ル

イ、勤續期間滿六ヶ月未滿ノトキ　退職當時ノ日給額三十日分
ロ、勤續期間滿六箇月以上一年未滿ノトキ　退職當時ノ日給額四十日分
ハ、勤續期間滿一年以上一年六箇月未滿ノトキ　退職當時ノ日給額五十日分
ニ、勤續期間滿一年六箇月以上二年未滿ノトキ　退職當時ノ日給額六十日分
ホ、勤續期間滿二年以上二年六箇月未滿ノトキ　退職當時ノ日給額七十日分
ヘ、勤續期間滿二年六箇月以上三年未滿ノトキ　退職當時ノ日給額八十日分
ト、勤續期間滿三年以上ノトキ　退職當時ノ日給額九十日分

第二、工場長ノ指定スル通勤區域內ニ妻帶居住シ世帶ヲ構フル者又ハ工場長ニ於テ之ニ準スルモノト認ムル者ニ在リテハ第二條但書ノ規定ニ依ル最低額ハ左ノ區別ニ依ル

イ、勤續期間滿六箇月未滿ノトキ　退職當時ノ日給額四十五日分
ロ、勤續期間滿六箇月以上一年未滿ノトキ　退職當時ノ日給額五十五日分
ハ、勤續期間滿一年以上一年六箇月未滿ノトキ　退職當時ノ日給額六十五日分
ニ、勤續期間滿一年六箇月以上二年未滿ノトキ　退職當時ノ日給額七十五日分
ホ、勤續期間滿二年以上二年六箇月未滿ノトキ　退職當時ノ日給額八十五日分
ヘ、勤續期間滿二年六箇月以上三年未滿ノトキ　退職當時ノ日給額九十五日分
ト、勤續期間滿三年以上ノトキ　退職當時ノ日給額百五日分

旭硝子株式會社牧山工場職工退職手當規則施行細則

第壹條　職工退職手當規則第壹條ニ依リ給與ヲ受クヘキ者カ遺族ナルトキハ戸籍謄本又ハ抄本其他ノ書類ヲ提出セシムルコトアルヘシ
第貳條　職工退職手當規則第壹條、第貳ニ依リ退職手當ノ給與ヲ受ケントスル遺族ハ死亡屆ニ醫師ノ死亡診斷書ヲ添附シテ願出ツヘシ
第參條　職工退職手當規則第壹條、第參、第四ニ依リ退職手當ノ給與ヲ受ケントスル者ハ當工場病院醫師ノ診斷書ヲ添附シテ願出ツヘシ
第四條　職工退職手當規則第壹條、第五ニ依リ退職手當ノ給與ヲ受ケントスル者ハ其理由ヲ證明スルニ足ルヘキ書類ヲ添附シテ願出ツヘシ
第五條　職工退職手當ノ支給ヲナス場合ニ於テ必要アルトキハ印鑑證明書ヲ提出セシムルコトアルヘシ

右諸規則ハ大正十年十二月一日ヨリ之ヲ施行シマス

大正十年十一月廿五日

旭硝子株式會社牧山工場長